

沖繩

科学研究費プロジェクト
「戦争・経済・メディアから見るグローバル世界秩序の複合的研究」
特別シンポジウム

暴力論

帝國的テロル
&
経済原理主義

“自発的隷属”
v.s.
“自爆的抵抗”

”復帰”の齡を数えるそのたびに、沖繩と”本土”との
振れた縫合線は活断層のように鳴動する。
沖繩戦、集団死、米軍占領、軍事基地化、復帰後の経済開発と改造、
さらにグローバル経済と世界的軍事秩序の再編…。
制度化された暴力と不可視の暴力とが交錯する特異点〈沖繩〉から、
防衛庁の“省”昇格の年、日本とグローバル世界の現在を照射する。

2007.11.10 (Sat.) , 11 (Sun.)

東京外国語大学 (多磨キャンパス)

研究講義棟 2階 226 (予約不要、入場無料)

第1部 集団死の特異性

11.10 (Sat.)

11:00-11:10 企画趣旨説明

11:10-12:50 映画『レベルV』(監督:クリス・マルケル)上映
昼休み

14:00-15:25 映画『それは島』(監督:間宮則夫)上映
休憩 (10分)

15:35-17:40 第一シンポジウム「集団死の特異性」
パネリスト; 間宮 則夫、仲里 効
米谷 匡史、西谷 修
司 会; 中山 智香子

第2部 暴力とその表出

11.11 (Sun.)

11:00-12:00 映画『沖繩』(監督:間宮則夫)上映
+ ショート・トーク(間宮則夫、中山智香子)

昼休み

13:00-14:35 映画『沖繩やくざ戦争』(監督:中島貞夫)上映
休憩 (10分)

14:45-17:00 第二シンポジウム「暴力とその表出」
パネラリスト; 目取真 俊、仲里 効
真島 一郎、米谷 匡史
司 会; 西谷 修



レベル5

監督・撮影：クリス・マルケル
 出演：カトリーヌ・ベルコジャ、大島渚
 フランス/1996/カラー/106min.

狭い部屋でコンピューターに向き合い、ローラはディスプレイ越しに恋人と対話する。沖縄戦をテーマにしたコンピューターゲームの完成を待たずに死んだ恋人に、ゲームの仕上げを託されたのだ。とまどうローラは作者(クリス・マルケル)に助けを求める。クリスの助いで、ローラはゲームの中に入って行く。謎のネットワーク。そこで彼女はこの戦いの証人たちに出会う。大島渚、金城重明…。ただ、レベル5—不可能な真実—に到達することはむずかしい。



沖縄

監督：間宮則夫
 日本/1959/カラー/60min.

1959年、早稲田大学沖縄八重山学術調査事業の一環として撮影されたドキュメンタリー。戦後の米軍政下で、人口移動を強いられた石垣島、波照間島、西表島の生活風景、島の様相を一変して大規模な基地建設の進む沖縄本島など、当時の貴重な記録映像になっている。未公開のこの映画が、作者に12年後の「それは島」を撮らせるきっかけになる。



それは島
 —集団自決の一つの考察—

監督：間宮則夫
 日本/1971/モノクロ/85min.

沖縄復帰の前年、ある撮影グループが「集団自決」の島、渡嘉敷を訪ねる。折から、那覇では旧日本軍守備隊長赤松元大尉の来島を阻止する抗議行動があった。けれども島では、カメラは住人たちの拒絶と沈黙に出会う。この拒絶と沈黙が意味するものは何か。島の日常のイメージのなかに、ドキュメンタリーの挫折そのものをモンタージュしながら、実験的・構造的に「語りえない」ことの意味を問う。



沖縄やくざ戦争

監督：中島貞夫
 出演：松方弘樹、渡瀬恒彦ほか
 日本/1976/カラー/95min.

本土復帰を翌年に控えた昭和46年、沖縄やくざ組織は本土系暴力団の沖縄進出に対処して「沖縄連合琉盛会」を結成した。こうして沖縄やくざ組織の内部抗争と、本土系との血で血を洗う凄惨な戦いが始まる。折からベトナム戦争末期、荒廃した米軍基地から武器が流れ出す。巨匠笠原和夫の幻のシナリオ「沖縄進撃作戦」をもとに、復帰に絡む権力の重層的再編や、暴力の経済化の流れを、剥き出しの抗争の姿で書き出した、実録風ハードアクション。

パネリスト



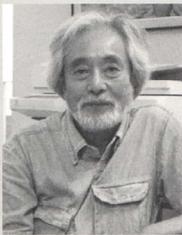
目取真 俊

1960年沖縄県国頭郡今帰仁村生まれ。警備員、塾講師を経て、高校教師。傍ら、沖縄の自然と共同体、そこに生きる人間とのかかわりを描き続ける。『氷摘』で第117回芥川賞を受賞。他の著書に『魂込め』(川端康成文学賞、木山捷平文学賞受賞)『沖縄「戦後」ゼロ年』『風音』『虹の鳥』など。現在は執筆活動に専念。



仲里 効

1947年沖縄県南大東島生まれ。1996年に季刊雑誌『EDGE』を発行して注目を浴び、批評と映像表現の分野で活躍。著書に『ラウンドボーダー』『オキナワ、イメージの縁』、共著に『沖縄の記憶/日本の歴史』『複数の沖縄』など。映画『夢幻琉球つるヘンリー』共同脚本。2003年山形国際ドキュメンタリー映画祭沖縄特集(琉球電影列伝)コーディネーター。『コンディショナルタ沖縄』制作。



間宮 則夫

1929年東京都杉並区生まれ。1951年日本映画社に入社。東京シネマ、日経映画社を経てフリーとなる。PR映画を撮る一方で「映像芸術の会」「杉並シネクラブ」などの記録映画運動に参加。主要作品に「それは島」「沖縄」の他、「機械文明の騎士たち」(教育映画祭産業教育部門最高賞、東京都教育映画コンクール産業教育部門最高賞受賞)、「サハラに築く—天然ガス処理プラント建設」等。

東京外国語大学スタッフ

- 西谷 修 思想文化論
- 中山 智香子 現代経済思想
- 米谷 匡史 日本近代思想史
- 真島 一郎 文化人類学・アフリカ地域研究

会場：東京外国語大学 (多磨キャンパス)
 研究講義棟 2階 226

西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分
 京王線「飛田給」駅よりバス「東京外国語大学前」下車徒歩1分

問い合わせ：東京外国語大学大学院共同研究室

Tel. 042-330-5439 mail. daigakuin-kyodo@tufs.ac.jp